

開講学科	建築学科	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		—				
科目名	建築計画Ⅰ	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		1年次	必修	14000301		
担当教員	石黒由紀	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	後期	月曜日	1時限	
授業の教育目的・目標	建築計画学では、身体の知覚、認識的側面から文化、社会的側面まで、幅広く建築の普遍的性質を理解し、総合的にまとめる能力をつけていくが、その入門としての基礎的な知識を身につけるとともに、建築を成立させている基本的な原理を理解する。本講ではさらに、時代や社会を超えて建築に内在する空間の原理を理解し、より創造的な建築設計の能力につなげる。					
学科の学修・教育目標との関係	建築設計者・技術者として必要な基礎知識を持っている					
キーワード	建築計画、文化、社会、住環境、プライバシー、空間、身体、行為、動線、領域、場所、コンテキスト、スケール、知覚、寸法、ユニバーサルデザイン、規模、環境					
授業の概要	建築設計には様々な人、ものが関係するため、敷地や用途、目的に応じて要求される普遍的性質を理解し、秩序立て組み上げる「計画」の段階が必要である。本講では建築的に優れた事例をもとに、寸法やプライバシーなど、今後の建築計画Ⅱ、Ⅲ、や設計の学習に必要な基礎知識を学ぶ。同時に、「領域」「コンテキスト」などのキーワードを紹介しながら基本的な建築の原理について理解を深め、自分で問題を組立て展開していく応用力をつけていく。授業をふまえ、新建築誌を毎月読んで、月評を参考に批評文をレポートし提出し、自分の言葉で建築の見方を表現する方法を身につける					
授業の計画	第1回： 建築計画とは 第2回： 建築計画の分野、理念、歴史 第3回： 生活像と建築空間1(生活像とは、生活像設定の留意点) 第4回： 生活像と建築空間2(実例による解説) 第5回： 寸法計画1(要素空間、各部適性寸法) 第6回： 寸法計画2(各部寸法の目測と実測比較、人体スケール、かくれた次元) 第7回： 規模計画1(規模計画の意味、プロセス、適正規模の判断基準) 第8回： 規模計画2(あふれ率法、全体規模からの基本単位の面積配分) 第9回： 動線計画1(動線の一般的条件、実作の平面を使った動線分離確認) 第10回： 動線計画2(使いやすさ、アプローチ等に求められる原則、動線の手法) 第11回： 架構とシェルター 第12回： 空間の要素と集合 第13回： 建築構成学 第14回： 集合住宅 第15回： コミュニティ計画2					
受講条件・関連科目	授業の中で、今後、建築について思考する際に必要となる基礎的なキーワードをたくさん提示するので、できるだけ実際の建築に当てはめ、具体的に身につけてください。建築は様々な領域の学問との関わりがあるため、学科以外の科目にも幅広く興味を持ち、心理学、社会学、文化人類学、歴史なども積極的に学習するように。					
授業方法	講義、レポート課題、小テスト、期末テスト					
テキスト・参考書	教科書：建築計画(実教出版) 参考書：建築計画(朝倉書店)、建築計画を学ぶ(理工図書)、建築計画教科書(彰国社)コンパクト建築設計資料集成(丸善)					
成績評価	・期末試験(50%)・レポート(20%)・その他(授業への取組姿勢、小テスト等)30%)					
履修上の注意						